

学びから問いが生まれるとき

— キャンパスを超えた思考のアリーナへ —

「学問の自由」が保障される大学で自由に学ぶとは？学生生活の中では学業の他にも魅力的な刺激が多くある中で、学生が自らの卒業研究にどう向き合っているのか？—大学生生活の集大成ともなる卒業研究を自ら深めていくことは、かえがえのない経験であると同時に暗中模索の不安がつきものです。卒業研究は学生にとっても試行錯誤ですが、実は教員にとっても一人ひとりにどう応じるか試行錯誤の繰り返しです。大学や学部ごとの違いも少なくないのが高等教育の世界でもあります。

そこで、獨協大学・大阪公立大学・東京外国語大学の三大学の学生と教員で、キャンパスを超えた思考のアリーナをつくってみました。現在、卒論に向き合っている4年生はもちろん、それ以外の学年の方も歓迎します。ぜひ、お気軽に参加してみてください。当日は、学生の方にご協力いただき研究構想を発表いただきますが、参加者の方々もご自身の興味関心などを紹介いただければ幸いです。

日時： 8月4日(木) 15時00分～17時00分

Zoom: [こちら](#)から入室してください(事前予約は不要です)

※ 入室されたら「お名前(ご所属)」と名前をご変更ください。

企画者

辻野 けんま

教育経営学

大阪公立大学・准教授

kemma.t@omu.ac.jp

安原 陽平

教育法学

獨協大学・准教授

yasuhara@dokkyo.ac.jp

布川 あゆみ

教育社会学

東京外国語大学・特任講師

ayumifukawa@tufs.ac.jp

ドイツの研究をしている3人の教員の共同企画です。専門分野が、それぞれ教育経営学(辻野)、教育法学(安原)、教育社会学(布川)と異なりますが、専門分野の違いや大学の違いなどが交わることで生まれるものがあると考えています。学生のみならず、一人ひとりの個性が発揮され交流できる機会になればと願っています。